

7月11日は

参議院通常選挙の

投票日です。

◆投票時間 午前7時～午後7時

※第4・5・6・8・9・11・13・14・15・17・19・20・21・24投票区は午後6時まで

◆有権者

平成2年7月12日までに生まれた人で、平成22年3月23日までに能登町に住民登録を行い、引き続き3カ月以上能登町に住所を有している人。

◆入場整理券

住民登録がある住所へ送付されます。住民登録と現住所が異なっている人は、入場券が届かない場合があります。入場整理券がなくても選挙人名簿に登録され、当日選挙権があれば投票できます。

◆不在者投票

選挙人名簿に登録されている人で、現在出稼などで能登町以外に在住している人は、不在者投票をすることができません。該当する人は、事前に宣誓書（請求書）を取り寄せ、必要事項を記入し選挙管理委員会へ郵送してください。請求のあった現住所へ投票用紙や不在者投票用

封筒などを送付します。

◆投票用紙

選挙は2種類あります。投票用紙の色は次のとおりですので、投票する際は間違えないよう注意してください。

・参議院選挙区選出議員選挙（薄黄色）
・参議院比例代表選出議員選挙（白色）

◆期日前投票を利用しましょう

開設期間	投票所名	投票時間
6月25日(金)～ 7月10日(土)	能都庁舎 1階集会室	午前8時30分～午後8時
7月5日(月)～ 7月10日(土)	柳田庁舎 1階事務室	午前8時30分～午後7時
	内浦庁舎 1階ロビー	
7月9日(金)～ 7月10日(土)	鶴川支所 図書室	
	小木支所 ロビー	

投票区	投票所（予定）	区 域
第1	能都社会福祉会館（能都庁舎）1階集会室	宇出津の一部（天保島、天徳町、本町、大蔵町、浜町、酒垂町、大竹町、中組、桜町、三番町、中島町、浜小路、川原町、新村本町、新村浜町、昭和町、音羽町、小棚木、大棚木、城野町、城山）
第2	宇出津小学校 1階ロビー	宇出津の一部（仙人町、立町、横町、上田町、上町、中町、大橋組、錦町、栄町、上岩屋町、下岩屋町、漆原、梅ノ木、平体、大平、源平）、宇出津新港、藤波の一部（辺田ノ浜、柳倉）
第3	ひばり保育所 遊戯室	崎山、藤波の一部（四明ヶ丘）
第4※	三波公民館 集会室	藤波の一部（間島）、波並
第5※	矢波集会所	矢波、猪平
第6※	神野公民館 ホール	宇加塚、鶴町、曾又、藤ノ瀬
第7	鶴川公民館 図書室	七見、鶴川、小垣の一部（一の谷を除く）
第8※	瑞穂公民館 和室	柿生、瑞穂、祖倉、山田の一部（上三田を除く）、武連、本木、小垣の一部（一の谷）
第9※	宮地生活改善センター 集会室	宮地、鮭尾、山田の一部（上三田）、太田原、柏木
第10	柳田体育館	柳田、笹川、石井、国光、鴨川、五十里、十郎原
第11※	小間生公民館 会議室	上長尾、小間生、桐畑、鈴ヶ嶺、久田
第12	上町地区生活改善センター 和室	合鹿、上町、天坂、寺分、五郎左工門分
第13※	岩井戸公民館 会議室	黒川、大箱、北河内
第14※	当日地区多目的研修集会センター	当日
第15※	斉和多目的集会所	中斉、神和住
第16	内浦福祉センター 1階集会場	松波、恋路、明生、布浦
第17※	上区集会場	上、滝之坊、田代、駒渡
第18	不動寺公民館 集会室	宮犬、不動寺、行延、時長、山中、満泉寺、国重
第19※	秋吉公民館 集会室	九里川尻、秋吉、河ヶ谷、清真
第20※	白丸コミュニティ施設 多目的交流ホール	立壁、四方山、白丸、内浦長尾、新保
第21※	能登勤労者プラザ 体育館	市之瀬、明野、越坂
第22	小木地区活性化センター ロビー	小木
第23	高倉保育所 遊戯室	姫、真脇、羽生
第24※	小浦地区集会所	小浦、羽根

※印の投票所の投票時間は午後6時までです。

第2回 議会 定例会

報告 11件、議案 3件、
諮問 2件を審議

能登町議会第2回定例会が6月11日に招集されました。会期を18日までの8日間と定め、平成21年度補正予算などの報告11件、平成22年度一般会計補正予算や条例改正など議案3件、諮問2件の16件が上程されました。

持木町長が議案の提案理由を述べたあと、6人が議案について質問しました。人事案件2件を適任とし、議案は各常任委員会に付託され審議されました。

最終日の採決では、委員長報告を受けて報告11件を承認、議案3件は原案のとおり可決



されまし
た。請願
1件を採
択とし、
発議され
た議会議
案を原案
のとおり
可決しま
した。

■適任とされた人事案件

・人権擁護委員候補者の推薦について▽
仲谷章氏（65）≡天坂≡
・人権擁護委員候補者の推薦について▽
金七えり子氏（59）≡松波≡

■承認された報告（11件）

《平成21年度補正予算7件》
・一般会計補正予算（第5号）▽歳入歳出それぞれ1億3853万円を減額し、総額を158億1689万6千円とする
・有線放送事業特別会計補正予算（第5号）
・国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
・老人保健特別会計補正予算（第2号）
・公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）
・浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第3号）

■採択された請願

・国の教育予算を拡充することについて
▽教育予算の拡充を求める意見書を議会
で採択し、行政当局へ提出

■可決された議案

・永住外国人への地方参政権付与の法制
化に反対する意見書の提出について

永年在職者表彰式・総会



町会区長
連合会の
永年在職者
表彰式と総
会が5月26
日、役場能
都庁舎で行
われまし
た。表彰式
では長年に
わたり町会
長・区長を
務めた17人が受賞。引き続き行われた総
会では21年度の事業・決算報告と22年度
事業計画・予算が審議されました。
表彰者は次の皆さんです。（敬称略）

- 【5年表彰】▽川原文造（桐畑）▽小間
義昭（鶴川栄町）▽山本研（太田原）▽
銭塚孝（上田町）▽八幡一彦（酒垂町）
▽林正治（本町）▽仲谷章（天坂）▽中
下達雄（十八束）▽背戸寛次（姫中組）
▽紺井勉（城山）▽浜口三喜（崎山2丁
目）▽川上謙吉（源平）▽道下政利（宇
出津新港）
- 【10年表彰】▽岩井俊雄（中町）
- 【15年表彰】▽藤村吉政（天神町）▽道
下薫（第二八幡町）▽川端晃（錦町）

柳田地区は、ホームターミナル（外部チューナー）を経由したシステムからテレビ内蔵のチューナーを利用する形に変更となります。

長く慣れ親しんできた形から大きく変わるため、内容が分かりにくいという人たちを対象に、次のとおり説明会を開催します。

※ホームターミナルの回収方法は、後ほど案内します。

○柳田地区説明会日程表

日時		会場
7月7日(水)	18:30～	柳田山村開発センター（3階ホール）
		上町地区生活改善センター
7月8日(木)	18:30～	当目多目的研修センター
		岩井戸公民館
7月12日(月)	18:30～	上町公民館合鹿分館
		斉和コミュニティーセンター
7月14日(水)	18:30～	小間生地区生活改善センター
7月23日(金)	18:30～	北河内集会所

○個別相談会の開催

日時	会場
7月25日(日)	9:00～16:00 柳田山村開発センター（2階会議室）

※該当地域で行われる説明会の日程が都合悪い人は、ほかの説明会や個別相談会に参加してください。

○終了となるチャンネル表（柳田地区多チャンネル）

チャンネル放送名					
1	スペースシャワー	18	BS-TBS	41	日テレ G+
2	ヒストリーチャンネル	21	BS ジャパン	42	QVC
6	NNN24	22	BS フジ	43	サイエンスチャンネル
13	北日本放送	23	NHK ハイビジョン	44	ビクトリーチャンネル
14	NHK 衛星第1	29	キッズステーション	45	放送大学
15	NHK 衛星第2	31	チャンネル NECO	46	グリーンチャンネル
16	BS 日テレ	34	スカイ・A	50 ～ 56	リクエストチャンネル
17	BS 朝日	36	スターカラオケ		

※有料放送の「38ch：WOWOW 39ch：スターチャンネル 40ch：衛星劇場」は、平成22年3月で配信中止としています。

詳しいお問い合わせは… ☎ 広報情報推進課 ☎ 76-8301

※デジタル放送全般については、まちづくり出前講座をご利用ください。（広報6月号参照）

平成23年3月末でアナログ衛星放送サービスが終了となります

国が進めるテレビ放送のデジタル化に伴い、地上放送だけではなくアナログの衛星放送も来年で終了となります。これに伴って能登町有線テレビ放送でも、平成23年3月末で以下の衛星放送サービスを終了させていただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解をよろしくお願いいたします。

地区	終了するアナログ衛星放送（NHK 衛星受信契約解除が別途必要です）
能都・内浦地区	C17：NHK 衛星第1 C20：NHK 衛星第2 12：グリーンチャンネル C24：放送大学
柳田地区	ホームターミナル（外部チューナー）によるアナログ衛星放送多チャンネルサービス（チャンネル表は次ページ別表を参照してください）

引き続きデジタル衛星放送を見るためにはパラボラアンテナが必要になります

現在販売されているデジタル対応テレビのほとんどの機種は、地上デジタル放送のほか、BS デジタル衛星放送とCS110° デジタル衛星放送の3つの種類のデジタルチューナーが内蔵されています。パラボラアンテナと有線テレビの同軸ケーブルを混合器で合わせるにより、複数台のテレビや録画機器でもデジタル衛星放送が視聴できること（有料チャンネルは除く）になります。

設置工事に関しては、最寄りの家電取扱店などにご相談ください。



パラボラアンテナ

よくあると
思われる質問

Q 柳田地区の使用料は安くなるのですか

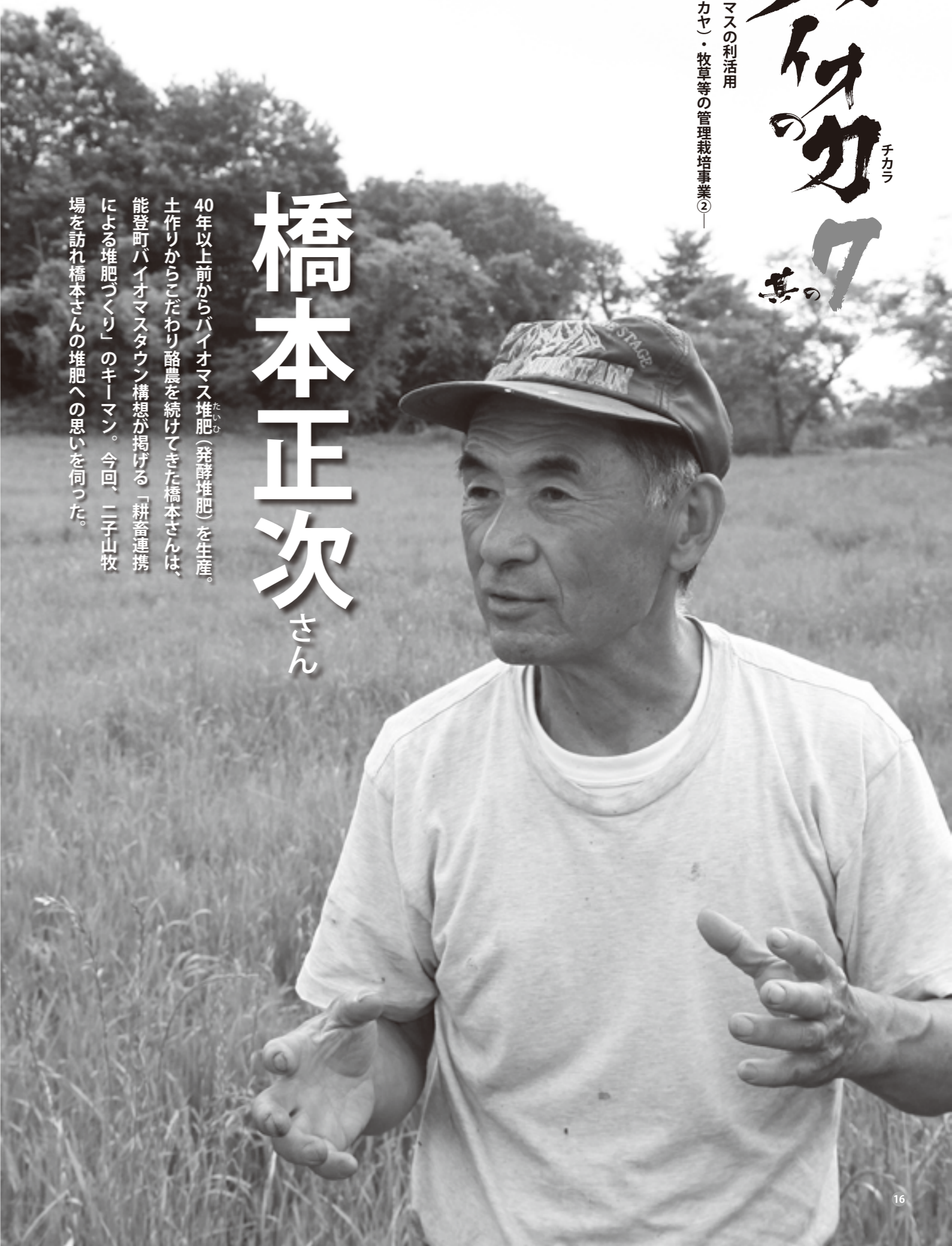
柳田地区は、多チャンネルサービスの終了に伴い月額2000円を1000円に引き下げる予定です。

Q なぜ、衛星放送は3月で終了するのですか

アナログ放送終了時期は平成23年7月となっておりますが、終了前に文字だけの画面になることも検討されているため、確実に放送が見られる3月末を終了時期としました。柳田地区料金改定の年度区切り対応でもありません。

Q デジタル衛星（多チャンネル）放送はできないのですか

デジタル多チャンネルの送信設備には多額の予算が必要になります。受信する側も機器ごとに専用の受信チューナー（セットトップボックス）が必要となり、負担増が予測できるため行うことができません。



橋本正次 さん

40年以上前からバイオマス堆肥（発酵堆肥）を生産。土作りからこだわり酪農を続けてきた橋本さんは、能登町バイオマスタウン構想が掲げる「耕畜連携による堆肥づくり」のキーマン。今回、二子山牧場を訪れ橋本さんの堆肥への思いを伺った。

輸入飼料に頼らない経営

武連地区にある二子山牧場。25畝という広大な牧草地には、1畝近くまで伸びた牧草が刈り取りを待っていた。「この草は昨年に種をまき、春に一度刈り取ったもの。明日には2度目の刈り取りをする予定です」

橋本正次さん（66歳）は武連IIが経営する二子山牧場は、発酵堆肥を使った土作りにこだわり、飼料のほとんどを自前でまかなっている。「年に4回草を刈り取ります。毎年秋には、種をまいていないヒエが1畝50坪まで育ち一面に広がるんです。これは土に栄養があるから。農家にとっては雑草でしかないヒエですが、ここでは貴重な飼料。牛も喜んで食べています」

40年以上土作りに取り組んできた橋本さん。それでもまだまだ分からないことが多いという。「形になるまでに30年。一年一年の積み重ねでした。結果は、草を食べる牛が出て

くれました。うちの牛はよく食べるし、余分な脂肪もありません。健康だから長生きするし、受胎もします。堆肥が草を作り、草が健康な牛を育て、おいしい牛乳ができるのです。自然のサイクルの中で育つ牛は育ちが違います」

堆肥は貴重な宝物

牧場の一角にある発酵堆肥生産施設。橋本さんは養鶏業者から運ばれる大量の鶏ふんに牛ふん、木くず、もみ殻などをブレンドし、発酵させて堆肥を作る。「堆肥が完成するまでには7、8カ月。水分調整したり、積み替えたりと大変な労力と経費が必要です。それでもこの堆肥作りがすべての原点。いらぬ物、捨てられる物に手間暇をかけて作る堆肥は、わたしにとって貴重な『宝物』なのです」

完成した堆肥は専用の機械を使って何度も牧草地にまかれる。二子山牧場の土には6月の状態で10坪近く積もっていた。

忙しい酪農の傍ら、橋本さんは敷地内の畑で野菜も作っている。「この堆肥を使って有機栽培した野菜は、甘みがあって本場においしいんです」と目を細める。「土にこだわれば、おいしくて健康に良い野菜ができます。牛も人間も同じで、健康な体は健康な食べ物で作られるのです」

キーワードは、橋本さんが40年前から取り組んできたことそのものだ。

「ここには堆肥を作る施設や重機がそろっています。町をあげて堆肥作りに取り組むならば協力を惜しみません」橋本さんが積み重ねた経験と実績は、バイオマスタウンを目指す町の道しるべの一つとなる。

土、牧草、牛、野菜——。すべての原点が発酵堆肥です。

本物を求め直球勝負

「土づくりは5年や10年で結果を判断できません。それでも、辛抱して時間をかければ『本物』になります。自然は正直だからこそ、変化球ではなく『直球勝負』を心掛けてきました」と振り返る。

『食の安全、地産地消、バイオマス』。今、注目される

【PROFILE】はしもと・せいじ

昭和41年、東京農業大学卒業。43年4月、国営農地開発パイロット事業二子山開発地区に入植。乳牛8頭から草地酪農を始めた奥能登酪農のバイオニア。46年、牛舎を新築し乳牛50頭に規模拡大。(右)二子山牧場を設立する。現在は乳牛約90頭（搾乳牛65頭）。武連在住、66歳。



写真右：二子山牧場の牛舎では昨年刈り取ったというヒエをおいしそうに牛が食べていた。牛の寝床に敷く敷料にも堆肥が使われている。

写真左：橋本さんが作ったニンニク。右が堆肥を入れていない土で育てたもの。左が土作りをした畑で育てたもの。その大きさ、太さは明らかに違う。

石川県スクールシアター

感動の物語を光と影の演出で

6月7日、能都体育館でスクールシアターが開催され、町内の小学校4年生から6年生までの約400人が本物の舞台芸術を鑑賞しました。今年は劇団みんわ座（東京都）による影絵人形劇が披露されました。みんわ座の皆さんは、日本のアニメーションの始まりと言われる江戸時代のからくり影絵や、友情を描いた作品など3作品を上演。児童らは光と影が織りなす物語に見入っていました。上演終了後、宇出津小学校6年の橋本文明君が「今日はすてきな劇をありがとうございました」と花束を手渡し、劇団の皆さんに感謝の言葉を述べました。



ホテルの友情を描いた作品「とべないホテル」を鑑賞する児童

1本1本丁寧に苗を植える団員ら



スポーツ少年団能都支部農業体験

子どもの心をはぐくむ食の体験

スポーツ少年団能都支部の団員や保護者らが6月6日、瑞穂地区の農場でサツマイモの苗植えを体験しました。能都農業青年会議の協力で平成10年から毎年実施しているこの農業体験に、今年は約220人が参加しました。

数馬嘉雄支部長は「この体験で皆さんが感じたことを大切にしてください」とあいさつ。農業青年会議の皆さんが植え方を指導しました。200本の苗をあっという間に植え終えた団員ら。最後に水をやって苗の成長を祈りました。この日植えたサツマイモは10月に収穫し、焼き芋にしてみんなで食べる予定です。

新町通り線1期区間・宇出津港緑地公園完成を祝う会 新たなにぎわいが生まれる場所に

新町通り線1期区間と宇出津港緑地公園の完成を祝う会が6月6日に行われました。新町通りは平成10年度から、宇出津港緑地公園は平成14年度から、共に石川県が事業主体となって整備されました。完成式典は宇出津港緑地公園で行われ、持木町長や谷本県知事などがあいさつ。広場に町花「のとキリシマツツジ」を植樹し完成を祝いました。その後、ミニ曳山に先導されて新町通りのイベント会場に移動。さまざまな催しが披露され、にぎわいを見せていました。



▲新町通りでは、テープカットのあと保育園児のキリコや地元町内会のキリコが運行。谷本知事もキリコ担ぎを体験しました。そのほか、ふるまいバイキング、レリーフはめ込み、太鼓演奏、ポニー馬車などたくさんのイベントが行われました。



◀スポーツ少年団の子どもたちと町花「のとキリシマツツジ」を植樹。広場名は5月27日に「宇出津港いやさか広場」と決定しました。

6月

まちの出来事

松波公民館「男性の料理教室」

中国文化に触れるギョーザ作り

多文化共生推進員で中国大連市出身の浅井麗華さん＝桐畑＝による「男性の料理教室」は5月16日に内浦福祉センターで開かれ、参加者がギョーザ作りを通して中国文化に触れました。

この教室は、町が推進している多文化共生事業の一環として松波公民館が主催したもので、男性14人が参加。浅井さんにめん棒を使ってギョーザの皮を薄くのばす方法などを教わりながら、外国文化に理解を深めました。参加した堀久護さん＝松波＝は「今度は家族にギョーザを作ってあげたい」と話していました。



浅井さんからギョーザ作りを教わる参加者

体長約5センチの稚魚を優しく水槽に放つ児童



柳田小学校児童がヒラメ稚魚飼育

作り育てる漁業に理解を深める

石川県水産総合センターが、県内二つの小学校を対象に実施している栽培漁業ミニ体験教室。今年は柳田小学校にヒラメの稚魚200尾が届けられました。6月14日、柳田小学校に水産総合センターの職員3人が訪れ、飼育を担当する6年生27人に栽培漁業やヒラメの飼育方法を説明。その後、児童は玄関に設置された水槽にヒラメを放ち、しばらく様子を観察しました。6月25日まで、一日2回交代でエサやりをして羽根海岸に放流する予定。竹中拓未君は「一匹も死なせず放流できるように頑張りたい」と意気込んでいました。

クリーンビーチいしかわ in のとちょう

きれいな海岸を自分たちの手で

石川のきれいな海岸を守るために、毎年県内一斉に行われているクリーンビーチいしかわ。今年は5月30日に行われ、能登町では羽根海岸、五色ヶ浜海水浴場、恋路海岸の3カ所で、地域住民ら約400人が海岸清掃に取り組みました。

海岸の環境保全と地域の美化推進を目的に行われているこの事業は、今年で16回目を迎えました。3会場では、早朝から大勢のボランティアが集まり、砂浜に落ちている空き缶やペットボトルなどのごみ、流木や海藻などの漂着物を拾い集め、1時間ほどできれいな海岸を取り戻しました。



直径1メートル以上のタイヤを運ぶ参加者＝羽根海岸で

見送る人の願いを込めた紙テープが出港を彩ります



中型イカ釣船団出港

大漁と航海の安全を祈りながら

函館、八戸に並び、日本有数の「冷凍スルメイカ」の水揚げ量を誇る小木港。今年も町内の中型イカ釣船団が6月上旬に出港しました。6月2日には小木船団の4隻が出港。乗組員の家族や友人、小木小学校の児童や小木保育園の園児らが港に集まり、色とりどりの紙テープをつないで大漁と航海の安全を祈りました。能登町のイカ釣船は、小木23隻、宇出津1隻、輪島1隻の計25隻です。最新鋭の設備と高い技術で1隻当たりの水揚げならば日本一と言われる能登町のイカ釣船団。汽笛を響かせながらスルメイカを求めて日本海に向かいました。